

金融内部監査士 継続研修制度（CPE）ガイドライン

社団法人日本内部監査協会（IIA-JAPAN）

1. 継続研修制度（CPE）の趣旨等

「金融内部監査士」の資格を有する者は、内部監査業務のプロフェッショナルとしての能力の維持・向上を図るため、この継続的専門能力開発制度（Continuing Professional Education / 以下、CPE）にもとづき、所定の期限内に30単位の履修をしなければならないものとします。

CPEによりその能力の維持・向上を図ることは、「金融内部監査士」に課せられた責務であり、ここに定める要件を満たさない場合はその資格を失うものとします。虚偽の申告がなされた場合も同様とします。

2. CPEの対象テーマ

CPEによる履修は、内部監査業務の質的向上に役立つテーマを対象とするものとし、具体的には、(a) 監査、(b) 会計、(c) 金融、(d) 証券、(e) 保険、(f) 経済、(g) 法律、(h) コンピュータの各専門分野とすることとします。

3. CPEの履修方法

CPEは、集合研修と自己学習の2つの履修方法によるものとします。それぞれ上限の単位数（20単位）が決まっており、これを超えて単位を取得することはできません。したがって、必ず集合研修と自己学習の2つの方法で履修することになります。

4. 取得単位の管理と報告

単位の取得は、自己管理を基本とし、その届出も自己報告制度とするものとします。

5. 単位取得の報告期限

(1) 初回の報告期限は、資格認定日の属する年を1年目として4年目の3月31日までで、それまでに所定の単位を取得するものとします。2回目の報告期限は、初回報告期限から2年目の3月31日までで、それまでに所定の単位を取得するものとし、以後はその繰返しとなります。

例) 2006年6月21日に「金融内部監査士」の資格を得た者の場合

第1回目 2009年3月31日までに所定単位を履修のうえ報告

第2回目 2011年3月31日までに所定単位を履修のうえ報告

第3回目以後 2013年3月31日、2015年3月31日.....

(2) 取得単位の届出は、所定の「金融内部監査士 CPE 報告書」により一度にまとめて提出するようにしてください。なお、「金融内部監査士 CPE 報告書」が足りない場合は、適宜複写（コピー）して使用するようにしてください。

(3) 届出をした「金融内部監査士 CPE 報告書」は各自複写（コピー）のうえ、少なくとも2年間は管理・保管するようにしてください。

6. その他

金融内部監査士とCFSAの両方の資格を認定されている場合には、CFSAのCPEを提出すれば金融内部監査士のCPEを充たしたとされます。CFSAのCPEについては、日本内部監査協会のウェブサイトをご覧ください。

集 合 研 修

- ・日本内部監査協会が主催する各種集合研修会、日本公認会計士協会が主催する監査関連集合研修会、日本内部監査協会が特別に認定する集合研修会のほか、その他の公共団体、専門団体、企業などの主催する公開募集の監査関連の集合研修会または公式社内研修会に参加して受講することをいいます。主催者に特に定めはありません。
- ・上記団体等の主催する研究会、専門部会等への出席もこれに含めることとします。

内 容	監査，会計，金融，証券，保険，経済，法律，コンピュータに関するテーマ
上限単位	上限単位は，20 単位とします。不足する単位は他の履修方法により取得してください。
取得単位の 計算方法	1 単位 = 30 分（30 分未満は切捨て） 例）*6 時間の集合研修の場合（AM9：30～PM4：30 1 時間休憩） 360 分 ÷ 30 分 = 12 単位 *1 時間の講座を連続 5 回の場合 60 分 × 5 回 = 300 分 300 分 ÷ 30 分 = 10 単位
届出方法	別紙の「金融内部監査士 CPE 報告書」に必要事項を記入のうえ，主催者の発行する修了証のコピー等（公式社内研修会等で修了証が発行されない場合には，上司の方や研修担当の方等の出席証明でも可）を添えて，郵送により提出してください。 ただし，日本内部監査協会の主催する集合研修会および日本内部監査協会が特別に認定する集合研修会については，修了証書等の添付は不要です。
「金融内部監査士 CPE 報告書」は，提出する際に 1 部コピーをして各自保管（2 年間）しておいてください。なお，提出済みの書類の返却・コピーは受け付けません。	

自 己 学 習	
専門図書や専門誌掲載論文・記事等の読書のほか，通信教育や e ラーニングの受講などにより新たな知識等を習得することをいいます。	
内 容	監査，会計，金融，証券，保険，経済，法律，コンピュータに関するテーマ
上限単位	20 単位とします。不足する単位は他の履修方法により取得してください。
取得単位の 計算方法	1 単位 = 60 分 単位の時間は，原則として，書籍や専門誌等の読読に要した時間の合計とします（1 時間未満の端数は，30 分以上は切上げ，30 分未満は切捨て）。 ただし，書籍 1 冊につき取得できる単位の上限は 5 単位とします。 通信教育および e ラーニングは，1 講座につき受講期間に応じて，次のとおり 8～15 単位の取得を認めるものとします。 ・受講期間 3 か月以下 = 8 単位 ・受講期間 6 か月以下 = 12 単位 ・受講期間 7 か月以上 = 15 単位
届出方法	別紙の「金融内部監査士 CPE 報告書」に必要事項を記入のうえ，郵送により提出してください。 通信教育または e ラーニングによる履修の場合は，主催者の発行する修了証書のコピー等を添えて，郵送により提出してください。 ただし，日本内部監査協会が特別に認定する通信講座については，修了証書等の添付は不要です。
「金融内部監査士 CPE 報告書」は，提出する際に 1 部コピーをして各自保管（2 年間）しておいてください。なお，提出済みの書類の返却・コピーは受け付けません。	

以 上

「金融内部監査士 CPE 報告書」のご送付・お問合せ等は...

〒104-0031 東京都中央区京橋 3 - 3 - 11 京橋サウス 8 F

社団法人日本内部監査協会（IIA-Japan）資格試験係

TEL：03-6214-2232 FAX：03-6214-2234

ウェブサイト <http://www.iiajapan.com/>

金融内部監査士 C P E 報告書

氏名: _____ 認定証番号: _____

社団法人日本内部監査協会 (IIA-Japan) は、CPE制度ガイドラインにおいて、証明書類を含めたCPE報告書を少なくとも2年間は管理保管するよう金融内部監査士の資格認定者に求めています。
 また、社団法人日本内部監査協会 (IIA-Japan) は、金融内部監査士の資格認定者がCPE制度を遵守しているかレビューする権限をもちます。
 この報告書は、金融内部監査士の資格認定者が自らのCPE活動を記録し、報告するために利用してください。

	講座・図書名	修了・読了年月日	主催者名・出版社名	講師名・著者名	集合研修		自己学習	
					テーマ / 時間(h) / 単位	/ /	テーマ / 時間(h) / 単位	/ /
	金融内部監査詳論	2006.11.02	(株)東京実務出版	山本 監太郎	/	/	(a)	/ 8.0 h / 5
(記入例)	内容の概要 (150字程度)							
					/	/	/	/
1	内容の概要 (150字程度)							
					/	/	/	/
2	内容の概要 (150字程度)							
					/	/	/	/
3	内容の概要 (150字程度)							
					/	/	/	/
1 ~ 3 小計					単位		単位	
上 限					(単位)		(単位)	
合 計					単位			

CPEのテーマには、「(a)監査, (b)会計, (c)金融, (d)証券, (e)保険, (f)経済, (g)法律, (h)コンピュータ」の8テーマがあります。該当する記号を記入欄に記してください。

単位数の計算方法は、CPEガイドラインをご確認ください。必要な枚数は各自コピーして使用してください。